

井原市教育委員会 5 月定例会会議録【公開用】

1. 招 集 令和5年5月11日(木)
2. 開 会 令和5年5月25日(木) 14時55分
3. 閉 会 令和5年5月25日(木) 16時25分
4. 会議の場所 井原市役所403会議室
5. 出席又は欠席した委員
出席委員 教 育 長 伊 藤 祐二郎
教育長職務代理 藤 井 秀 彦
委 員 奥 田 隆 夫
委 員 西 田 友 美
委 員 服 部 教 弘
欠席委員 なし
6. 会議に出席した職員
唐木教育次長 米本学校教育課長 多賀生涯学習課長
高田文化スポーツ課長 岡崎教育総務課長補佐

7. 教育長が告示した議題

附議事項

【報 告】

- 報告第14号 井原市ふれあいセンター運営委員会委員の委嘱について
- 報告第15号 井原市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 報告第16号 井原市社会教育委員及び井原市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
- 報告第17号 井原市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- 報告第18号 井原市立学校評議員の委嘱について

【議 案】

- 議案第 8号 井原市図書館協議会委員の任命について

8. 傍聴者 なし

9. 議 事

(1) 開 会

- ・伊藤教育長が開会を宣言
ただいまから5月定例会を開会いたします。

(2) 前回会議録の承認・公開について

【伊藤教育長】前回会議録の承認、公開について、事務局から説明をお願いします。

【岡崎教育総務課長補佐】前回4月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいております。本会議終了後にご署名をいただきますので、よろしくお願ひいたします。

す。なお、報告第4号「井原市教育委員会職員の人事異動について」と報告第5号から第9号までの「井原市公民館運営審議会委員の委嘱について」、報告第10号「井原市芳井公民館芳井分館長の任命について」、報告第11号「井原市立平櫛田中美術館運営委員会委員の任命について」及び議案第7号「井原市立学校の学校運営協議会委員の任命について」は人事案件のため非公開といたします。

【伊藤教育長】ただいまの事務局からの説明につきまして承認することとしてよろしいか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】では、そのようにお願いします。

(3) 教育長の報告事項

【伊藤教育長】次に、報告事項に移ります。私の方で資料を用意いたしております。

— 資料「岡山型PBLガイドブック」(岡山県教育委員会) からPBLについて紹介—

(4) 議 事

附議事項

【報 告】

□報告第14号 井原市ふれあいセンター運営委員会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□報告第15号 井原市公民館運営審議会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□報告第16号 井原市社会教育委員及び井原市中央公民館運営審議会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□報告第17号 井原市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□報告第18号 井原市立学校評議員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□議案第 8号 井原市立図書館協議会委員の任命について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

(5) その他

【伊藤教育長】その他として、委員のみなさんから何かございますか。

【奥田委員】学校訪問に行かせていただいている中で思うのが、児童数の減少についてです。

どの小学校も児童数が減って、複式学級のところが増えているように思うのですが、そうした学校は、職員数は減るが、校務分掌は減らないため職員の持つ分掌が多くなり、働き方改革としていろいろしているが、オーバーワークになっているのではないかと気になります。また、授業のカリキュラムも複式学級となると構成が難しいと思います。転入があった場合には、個別対応などの配慮が必要となる場合もあるでしょうし、学校現場では苦慮されているのではないかと心配しています。そのあたりの課題や対応については、どうでしょうか。

【米本学校教育課長】児童生徒数の減少については、課題意識は持っております。教員の負担については、少人数の学校は教員数が少なく、1人が担当する分掌の量が多いのですが、だからといって、その学校の教員が遅くまで残っているといった例はあまり見られません。どちらかというところ、児童数の多い学校の方が、教員の人数は多くとも、遅くなっている傾向があります。教育委員会として心配しているのが教育の中身の問題で、個に応じた丁寧な指導といったメリットはあるものの、社会生活をしていく上で、集団の中で学ぶことに関してはデメリットの部分はあると考えています。今後について、全く何も考えてないわけではございませんが、現段階でこことこの学校を統合などといった具体的な内容にまでは至っていないのが現状です。

【奥田委員】複式学級の場合は、カリキュラムの構成が非常に複雑となりますよね。例えば、理科と算数の関係でも、算数でまだグラフの読み取りを習っていないのに、理科の資料では出てくるなどの細かいことではあるのですが、複式学級の下の学年の子にとっては、かなり負担であろうかと思えますし、学力向上のことを考えても、細やかな配慮が必要になってこようかと思えますので、よろしくをお願いします。

【藤井職務代理】サポートする体制が大切ですね。

【伊藤教育長】複式学級でも算数は、複式にならないように非常勤講師を配置するなど配慮しています。そのほかの授業は、2学年、同じ内容を教えています。以前は、算数の複式の授業もありました。「わたり」といって、上の学年と下の学年交互に、自習する方と教える方に分けて授業をしていたこともありますが、現在市内の学校ではございません。県内では、もっと少ない学校で算数も複式でもらっているという学校もあります。

【西田委員】子どもからは、漢字が大変という声をよく聞きます。国語の授業も3年にあがるときに、漢字がぐっと増える学年ということもあって、より大変と聞きました。

【伊藤教育長】新出漢字については、読み書きできるように努め、それ以外の漢字は、とりあえず読めるようにしようというのが、複式の漢字の指導では行われています。小規模化というのは、本当に課題であります。

【藤井職務代理】先日の学校訪問で、県教委の方が、講評を述べられていたが、厳しいなあと感じました。初めに学校のいいところを褒められました。その後、授業の時に、子どもの目を見るために前から入るのだが、その目が元気がない、ワクワク感というか、期待するような目がないと言われていました。それを聞かれた先生のことを思うと、つくづく感じました。

【伊藤教育長】学力向上、教育県岡山の復活ということで、県も学校に赴き、指導したいという思いから、県教委の訪問も数年前から始まっているので、ただ褒めるだけでなく、教員への指導といった意味で厳しいことも言っているんだと思います。

【西田委員】学校訪問で感じたことですが、タブレット端末の活用で、先生の活用能力の差に驚きました。また、児童生徒に平等に配布されているのに、これだけ活用の差があると子どもも戸惑うのではと心配になりました。ある程度の活用の基準のようなものが、必要なのではと考えるのですが、いかがでしょうか。

【米本学校教育課長】タブレット端末の活用に差が生じていることは認識しております。校園長会におきましては、少なくとも中学校区で、活用の差が生じるのは、公教育の視点から見て好ましくないので、積極的に使って小学校から中学校へ上がるのを例にとると、中学校段階では同じように使える活用スキルを身に着けて中学校に進学させてくださいとは伝えております。

【伊藤教育長】では、事務局から何かあったらお願いします。

【岡崎教育総務課長補佐】本日の附議事項は、人事案件であるため非公開として会議録を作成させていただきます。なお、公開の可否については次回定例会で承認をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

— 各担当課長から教育委員会令和5年6月行事予定表により行事予定を説明 —

— 6月定例会を6月29日 木曜日 午後3時から、503会議室で開催に決定 —

(6) 閉 会

【伊藤教育長】以上を持ちまして、5月定例会を閉会いたします。委員のみなさま、本日はありがとうございました。